



ユーザ設定値の設定

- [エンドユーザ設定の概要 \(1 ページ\)](#)
- [ユーザ設定の前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [ユーザ設定タスク フローの設定 \(3 ページ\)](#)

エンドユーザ設定の概要

サービス プロファイルや機能グループテンプレートなどのユーザ設定を使用して、LDAP ディレクトリ同期によってエンドユーザに共通設定を適用することができます。LDAP ディレクトリ同期が行われると、設定された設定がすべての同期されたユーザに適用されます。



(注) この章では、IM and Presence Service に適用されるユーザ設定について説明します。ボイスメールや会議などの UC サービスを含む全般的な UC ユーザ設定については、*Cisco Unified Communications Manager* システム設定ガイドの「エンドユーザの設定」セクションを参照してください。この設定は、LDAP の同期の一部として適用することができます。

サービス プロファイル

サービス プロファイルには、ユニファイド コミュニケーション (UC) サービスの設定が含まれます。異なるユーザ グループ毎に異なるサービスを設定することができるため、各グループのユーザは、業務に合わせて設定された適切なサービスを利用することができます。エンドユーザが IM and Presence Service を利用することができるには、IM and Presence Service を含めるサービス プロファイルを構成します。

エンドユーザにサービス プロファイルを適用するには、次の方法を使用します。

- LDAP 同期されたユーザ向け: LDAP ディレクトリからエンドユーザをインポートした場合、サービス プロファイルを機能グループ テンプレートに割り当てることができ、その機能グループテンプレートをエンドユーザに適用することができます。テンプレートの設定は、すべての同期されるユーザに適用されます。

- アクティブなローカルユーザ（非 LDAP ユーザ）の場合：多数のユーザに一度に設定を適用するには、一括管理ツールを使用して、csv ファイルまたはスプレッドシート経由で、サービスプロファイルの設定を適用します。一括管理ツールの使用方法の詳細は、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html>を参照してください。
- あるいは、ユーザ設定を、各ユーザー毎に手動で設定することもできます。

機能グループテンプレートの概要

機能グループテンプレートは、LDAP ディレクトリ同期を介してエンドユーザのグループに対して、即座に共通設定を適用する際に役立ちます。たとえば、機能グループテンプレートを使用して、エンドユーザに対して **IM and Presence Service** を有効にすることができます。これは、**IM and Presence Service** が有効にされたプロファイルをテンプレートに適用することで実行可能です。LDAP ディレクトリの同期に機能グループテンプレートを適用すると、同期が実行される際に、テンプレートからの設定（設定されたサービスプロファイルおよびユーザプロファイル設定を含む）が、すべての同期対象のユーザに適用されます。

機能グループテンプレート設定には、機能グループテンプレートに割り当てられる次のプロファイルが含まれます。

- ユーザプロファイル：一般的な電話機と電話回線の設定のセットが含まれています。共通の電話回線の設定を割り当てるユニバーサル回線テンプレートと、共通の電話回線の設定を割り当てるユニバーサルデバイステンプレートを使用して、ユーザプロファイルを設定する必要があります。これらのテンプレートは、セルフプロビジョニングを設定しているユーザが自分の電話機を設定するのをサポートします。
- サービスプロファイル：IM and Presence Service、ディレクトリ、ボイスメールなど、一般的な UC サービスが含まれます。

ユーザ設定の前提条件

IM and Presence Service クラスタ間でユーザを移動する場合は、エンドユーザを設定する前にユーザを移動する必要があります。Cisco Unified CM IM and Presence 管理を使用してユーザを移行する方法、および連絡先リストをエクスポートまたはインポートする方法の詳細については、を参照してください。



(注) クラスタ間でユーザを移行すると、パーティションイントラドメインフェデレーションのために使用されたユーザ移行ツールと混同しないようにする必要があります。



- (注) Cisco Jabber を VPN 経由で接続している場合は、IM and Presence Service と Cisco Jabber クライアント間の TLS ハンドシェイク中に、IM and Presence サーバでクライアントの IP サブネットに対する逆引き参照が実行されます。逆引き参照に失敗すると、クライアントマシンで TLS ハンドシェイクがタイムアウトします。

ユーザ設定タスク フローの設定

これらのタスクを実行して、エンドユーザが IM and Presence Service を有効にするなど、共有サービスおよび機能設定を使用して、ユーザ テンプレートを設定します。LDAP 同期の完了後、テンプレートの設定がエンドユーザに適用されます。



- (注) この章では、IM and Presence Service に適用されるユーザ設定のタスク フローについて説明します。ボイスメールや会議などの UC サービスを含む全般的な UC ユーザ設定については、Cisco Unified Communications Manager システム設定ガイドの「エンドユーザの設定」セクションを参照してください。この設定は、LDAP の同期の一部として適用することができます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	ユーザ割り当てモードの設定 (4 ページ)	ユーザ割り当てモードを、「バランス」、「アクティブ/スタンバイ」、または「なし」に設定します。
Step 2	IM and Presence UC サービスの追加 (4 ページ)	Cisco Unified Communications Manager で IM and Presence Service をセットアップします。
Step 3	サービス プロファイルの設定 (5 ページ)	追加した IM and Presence UC サービスを含むサービス プロファイルを設定します。
Step 4	機能グループ テンプレートの設定 (5 ページ)	他の共通機能設定に加え、設定したサービス プロファイルを含む機能グループ テンプレートを設定します。

次のタスク

LDAP 同期を完了して、LDAP 同期 ユーザに設定を適用します。

ユーザ割り当てモードの設定

この手順を使用すると、Sync Agent がクラスタ内のノードにユーザを分散させる方法を設定できます。

手順

-
- Step 1** Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] を選択します。
- Step 2** [ユーザ管理パラメータ (User Management Parameters)] 領域で、[プレゼンスサーバのユーザ割り当てモード (User Assignment Mode for Presence Server)] パラメータに次のいずれかのオプションを選択します。
- [バランス (Balanced)]: このモード (デフォルト) では、ユーザを各サブクラスタのそれぞれのノードに均等に割り当て、各ノードにユーザの合計数が均等に分散するようにします。これがデフォルトのオプションです。
 - [アクティブスタンバイ (Active-Standby)]: このモードでは、サブクラスタの最初のノードにすべてのユーザを割り当て、セカンダリ サーバをバックアップのままにします。
 - [なし (None)]: このモードでは、Sync Agent でクラスタのノードにユーザが割り当てられません。
- Step 3** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次のタスク

[IM and Presence UC サービスの追加 \(4 ページ\)](#)

IM and Presence UC サービスの追加

Cisco Unified Communications Manager でこの手順を使用して、IM and Presence サービス用の UC サービスを追加します。

手順

-
- Step 1** Cisco Unified CM Administration から、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [UCサービス (UC Service)] を選択します。
- Step 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- Step 3** [UCサービスタイプ (UC Service Type)] ドロップダウンリスト ボックスから、[IM and Presence] を選択します。
- Step 4** [製品タイプ (Product Type)] ドロップダウンリスト ボックスから、[Unified CM (IM and Presence)] を選択します。
- Step 5** IM and Presence サービスの [名前 (Name)] と [説明 (Description)] を入力します。

Step 6 [ホスト名/IPアドレス (Hostname/IP Address)] フィールドに、IM and Presence サービスをホストするサーバのホスト名、IP アドレス、または DNS SRV を入力します。

Step 7 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

IM and Presence サービスのユーザを有効にするには、UC サービスをサービス プロファイルに割り当て、そのプロファイルをユーザに割り当てます。

[サービス プロファイルの設定 \(5 ページ\)](#) .

サービス プロファイルの設定

この手順を使用すると、IM and Presence サービスが含まれるサービス プロファイルを設定できます。

始める前に

[IM and Presence UC サービスの追加 \(4 ページ\)](#)

手順

Step 1 Cisco Unified CM Administration から、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [サービスプロファイル (Service Profile)] を選択します。

Step 2 次のいずれかの操作を実行します。

- [検索 (Find)] をクリックし、既存のプロファイルを選択します。
- [新規追加 (Add New)] をクリックし、新規プロファイルを作成します。

Step 3 [IM and Presenceプロファイル (IM and Presence Profile)] セクションで、**プライマリ IM and Presence** サーバを選択します。

Step 4 [サービスプロファイルの設定 (Service Profile Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドとその設定を含むヘルプは、オンラインヘルプを参照してください。

Step 5 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

[機能グループ テンプレートの設定 \(5 ページ\)](#)

機能グループ テンプレートの設定

共通の機能設定と、設定した IM and Presence 対応サービス プロファイルを含む機能グループ テンプレートを設定します。

始める前に

[サービスプロファイルの設定 \(5 ページ\)](#)

手順

- Step 1** Cisco Unified CM Administration で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [機能グループテンプレート (Feature Group Template)] を選択します。
- Step 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- Step 3** 機能グループテンプレートの [名前 (Name)] と [説明 (Description)] を入力します。
- Step 4** このテンプレートを使用するすべてのユーザのホームクラスタとしてローカルクラスタを使用する場合は、[ホームクラスタ (Home Cluster)] チェックボックスをオンにします。
- Step 5** このテンプレートを使用するユーザがインスタントメッセージおよびプレゼンス情報を交換できるようにするには、[Unified CM IM and Presenceのユーザを有効化 (Enable User for Unified CM IM and Presence)] チェックボックスをオンにします。
- Step 6** ドロップダウンリストから、[サービスプロファイル (Services Profile)] および [ユーザプロファイル (User Profile)] を選択します。
- Step 7** [機能グループテンプレートの設定 (Feature Group Template Configuration)] ウィンドウの残りのフィールドに入力します。フィールドの説明については、オンラインヘルプを参照してください。
- Step 8** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次のタスク

この機能グループテンプレートを含む LDAP ディレクトリ同期を設定します。LDAP 同期を完了すると、テンプレート内の IM and Presence の設定が同期済みユーザに適用されます。「[LDAP 同期の設定タスクフロー](#)」を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。